

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	豊田市役所			代表者名	太田 稔彦
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	総務部 情報戦略課	連絡先電話番号	0565-34-6946
担当者役職	主査	担当者氏名	藤本光、荒川涼介	連絡先E-mail	
住所	471-8501 愛知県豊田市西町3-60				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	庁内DX人材育成		
概要	豊田市は令和2年度に「豊田市デジタル強靱化戦略」を策定し、全庁的にDXに取り組んでいる。今回、技術系職員(特に土木系)を対象に講義を行っていただき、先進的なGISや3D マップ活用について触れることで、職員の意識啓発・機運醸造を行い、更なるDX推進を図る。				
支援を求める分野	オープンデータ 人材(DX推進のための機運の醸成) 防災 スマートシティ				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月11日	講演(実地)	14時30分	17時30分	
				活動時間(分)	180
2-2.	会場名	豊田市役所	最寄駅	豊田市駅	
派遣場所	所在地	愛知県豊田市西町3-60	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	杉本 直也
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アドバイザーご自身のこれまでの取組紹介とおして、なぜその取組を実施したか、背景にどんな課題があったかといったDXの意義について考えるきっかけを参加者に与えたいという意図を十二分に汲み取ったご講演をしていただけたため。また、ご講演本編はもちろんのこと、その後の質疑応答の際も「DXのデジタルはあくまで手段であり、どう変革を起こすか考えることが重要だ」というメッセージを参加者に強く投げかけていただけたため。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	45人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	住民	
	人数	45	0
		0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	豊田市全体でDXを推進するためには、職員一人ひとりがDXの意義を理解し、それぞれが主体的にDXに取り組むことができるようなDX人材の育成が必要だが、これまで実施してこれなかった技術系職員を対象にしたDX人材育成研修の具体的な内容の検討に苦慮している点。また、全庁をとおして、デジタルツールの導入が目的化してしまい、市民目線に立ったサービス検討や課題解決を行う重要性を失念していると思われる事例が少なからず散見される点。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	セミナーに参加することで、今後なぜDX推進が必要なのか、また豊田市における課題が何かという本来考えるべきことに気付ける、再認識できている。
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的に記入下さい)	アドバイザーご自身がこれまで取り組まれてきた「Virtual Shizuoka」の事例等を参考に、業務のDX化を推進する意義や理由について考えるきっかけを参加者に与えるようなご講演をしていただいた。

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	参加者がDX化を推進する意義や理由を再認識すると共に、本来着手すべき市民目線に立ったサービス検討や課題解決について考えるきっかけとなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> ⑦その他 技術系若手職員向けDX人材育成セミナーの実施
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 <アンケート内容> 以下内容でアンケートを実施。 ○参加者の職位(職位別にセミナーで印象に残った点や今後の研修ニーズの傾向を把握するための項目) ○セミナーの感想(とても学びがあった、学びがあった、どちらでもない、学びが無かった、全く学びが無かったの5段階評価) ○(上記5段階評価の)理由 ○セミナーに参加しての感想や印象に残っていること ○庁内における今後のDX人材育成研修に関する要望 <分析結果> 主査・技師といった中堅職員を中心に、データ蓄積の重要性や、市で取り組む課題を国・県単位での広域圏で連携して協議することの必要性について気付きを得たという意見が多かった。普段の業務で一担当者としてデータに接する機会や課題解決に取り組むことが多いため、そのような意見・感想が多く回答されたと推測される。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input type="checkbox"/> ①予算は確保済みであり、年度内に推進する 本研修の事後アンケートの結果も踏まえて、今後実施、又は充実させるべきDX人材育成の研修を検討し、実施していく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX人材育成をとらして、技術系職員が通常業務の枠を超えた分野・領域にGISや点群データ等のデジタルツールを利活用できる。その結果、南海トラフ地震等災害発生時の迅速な被害情報把握や、蓄積された様々な形式の地理情報を新しい生活様式を見据えたまちづくりに活用するなどして市民の幸福	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可 掲載可

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

